

明日にむかって

発行 社会福祉法人陽光会/陽光保育園/板橋第十小学校児童クラブ 発行日 2007年8月20日
 編集「明日にむかって」編集委員会 住所 東京都板橋区大谷口上町23-1 ☎03(3956)1068

53号

8月はじめ、第39回全国合同保育研究会が愛知県で開催され、9,039名もの参加者がありました。開催地実行委員長の神田英雄さんが開会全体会で話された「保育とは園にいる時間だけではない。子どもの一生に繋がっていく仕事です」という言葉が強く印象に残りました。この合同保育研究会は、保育者、施設長、保護者、研究者、学生などが、立場を超えてともに学びあう場であり、子どもを真ん中に保護者と保育者が手をつなぐ集会です。参加者一人一人が主人公になって意見を出し合い、実践を交流し、ともに協力する、そういった場が今日ほど必要とされている時はありません。来年の第40回の集いははじめて東京で開催されます。板橋でも地域実行委員会を発足させ、子どもたちの現状や、子育て・保育の悩みを出し合い、大人同士の手つなぎを広げていきたいと思います。(T・R)

3歳児

友達どうし協力して穴を掘り、そこへ水をためて池にしたり、川にして遊びます。体もしっかりしてくるので、岸から岸へジャンプしたり、ダイナミックに遊びはじめます。手先も器用になり、泥のお団子づくりも上手になってきました。



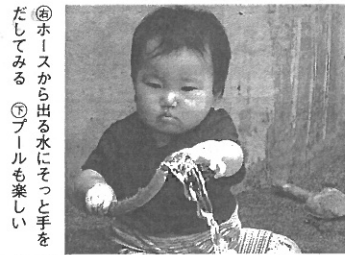
⑥砂場につくった池をジャンプ! ⑦大きな池ができました

子どもと水あそび

水あそびは、子どもの発達を促していくうえで欠くことができない活動です。水の刺激が皮膚感覚を通して幼い子どもの脳に送られることの重要さが叫ばれるようになってきました。小さいとき、この皮膚からの水刺激をたっぷり受けた子どもは、自律神経がたくましく育つということです。自律神経とは生きる力を支配しているところです。薄着で戸外の風にあたり、水あそびをたっぷりすることで、水あそびをたっぷりすることで、各年齢の水遊びの姿を紹介しています。

0歳児

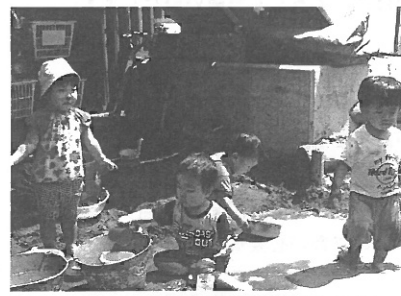
生まれて1年もたっていない赤ちゃん時代も、自然の変化に触れることは大切です。0歳児の水あそびは、大きな水しぶきをあげたりするより、ホースから流れる水に手をのぼしてそっと触れてみたり、何とかがもようをのぼしたり。水の冷たさを発見し、保育士を見上げる視線はまっすぐで、とても素敵なものですよ。



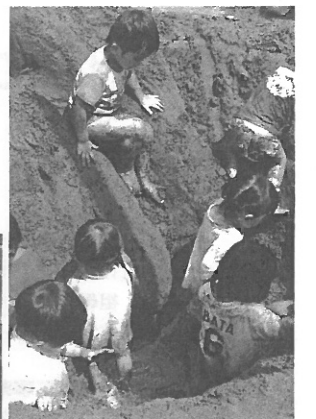
⑧ホースから出る水にそっと手をのぼしてみる ⑨プールも楽しい

1歳児

水道の蛇口から流れてくる水に手をのぼすと、水の流りが変わり、それがおもしろくて何度もさわってみます。おもしろい、楽しいと思うと、くりかえし遊んで、心も満足感でいっぱいになり、またやってみようという意欲へとつながっていきます。



⑩とっても楽しい砂場での水あそび ⑪蛇口に手をあててみる



⑫砂場に大きな穴を掘って…… ⑬穴を掘ったら水あそび!

4歳児

4歳児になると、「顔を付けてごらん」「ここにつかまれば怖くないよ」と、プールでも友達どうし教えあう姿がでてきます。友達に教えてもらうと、水が苦手な子ども、不思議と勇気がわいてきます。水あそびのなかでも育ちあひ、ぐんぐんと仲良くなっています。



⑭お友達に手を付けてもらって…… ⑮顔を水につけても平気!

5歳児

年長児になると、プールではほとんどの子が伏し泳ぎからバタ足ができるようになり、今まで以上に水、プールが大好きになります。水、プールは、心も体も解放しきって遊べ、子どもたちがキラキラ輝く瞬間です。



⑯さあ泳ぐぞ〜! ⑰バタ足だつてできるよ!(いずれも保育園のプールで)

2歳児

砂場に大きな穴を掘る。大人の背丈以上の深い穴になる。そこにどんどん水を入れていく。砂が削れてかっこうの遊び場になる。跳びおりる子、滑り台のようにする子、遊び方はいろいろです。嬉々とした声、おおいに盛り上がり、最後は水の噴射。水を体にあてるのが楽しいのです。

ごあんない

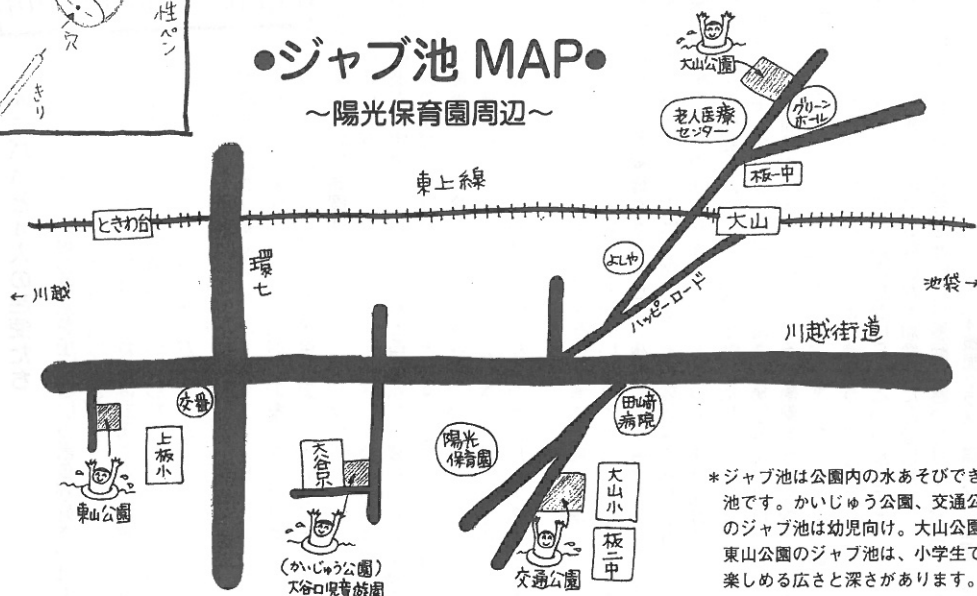
- ◆陽光保育園運動会
日時 10月7日(日) 9時〜14時
場所 板橋第十小学校 校庭(雨天、体育館)
- ◆陽光保育園後援会・納涼会
日時 8月25日(日) 19時〜21時
場所 陽光保育園ホール
- *一品持ち寄り。飲物は後援会で用意します。皿、箸、コップを持参してください。
- かき氷、流しそうめんも用意します。みなさまお誘い合わせのうえぜひお越しください。
- ◆陽光保育園後援会・秋の交流会
*日時・場所とも未定。河原の予定ですが、詳しくは追ってご案内します。
- ◆故平沢静子さん墓参
日時 10月28日(日) 12時〜13時(墓参後、会食)
場所 秩父やすらぎの丘(聖地公園)
- *陽光保育園の創始者・平沢静子さんが逝去してちょうど10年の今年、生誕100年にもあたり、多くの方の思い出を語り合いたいという企画したものです。墓参前夜交流会も予定しています。詳しくは陽光保育園までお問合せください。
- ◆陽光保育園冬のバザー
日時 12月2日(日)
場所 陽光保育園ホール

作ってあそぼう! 水でぼろぼろ

マヨネーズやケチャップの容器の底に穴をあけ、油性ペンで好きな絵を描きましょう。あとは水を入れて指で押すだけ。簡単に楽しい水でぼろぼろのできあがり! 側面に穴をあけても楽しいですよ。

ジャブ池MAP

~陽光保育園周辺~



*ジャブ池は公園内の水あそびできる池です。かいじゅう公園、交通公園のジャブ池は幼児向け。大山公園と東山公園のジャブ池は、小学生でも楽しめる広さと深さがあります。

陽光保育園の新園舎が「優良防火対象物認定証」(優マーク)の交付を受けました



7月6日、東京消防庁板橋消防署で行われた「優良防火対象物認定通知書交付式」にて。社会福祉法人陽光会・星野理事長と陽光保育園・高田園長

2006年3月に東京都の火災予防条例が改正された折に新設された「優良防火対象物認定表示制度」に該当すること、このたび陽光保育園の新園舎がその「優良防火対象物認定証」の交付を受けました。板橋区では3か所目の施設だそうです。

◎寄付のご協力ありがとうございます (2007年3月16日～7月31日)

浅羽正治、根岸崇、石川衣、石川晴美、垣内国光、星野拓、徳留人美、大内由紀子、上野聡子、高久ますみ、武田仁、内村算希、わかたけ保育園片岡敬樹、陽光保育園父母の会、陽光保育園後援会 (はらから豆腐販売)、陽光会財政部財政活動

◎社会福祉法人陽光会・建設財政連絡会より

社会福祉法人陽光会・建設財政連絡会では、陽光保育園新園舎改築費の不足額600万円を年60万円、10年間の目標で回収することを決定し、この4月からさまざまな財政活動を行っています。Tシャツ、キムチ、手作り食品等の物品販売、リズム講習会への講師(職員)派遣などです。また、これまで同様、陽光保育園を支援して下さる皆様へ寄付金もお願いしています。4月から7月末までの財政活動収益と寄付金の合計は305,000円ほどになりました。今後も新柄を取り入れたTシャツ販売等行っていきます。これからも、ご協力、ご支援のほど、よろしく願っています。

◎寄付のお願い

1口5000円 (何口でもけっこうです)
下記口座に振り込みお願いいたします。
郵便振替口座 口座番号 00140-0-260468
口座名義 陽光保育園建設委員会
* 寄付金控除の対象になります。領収書が必要な方はお書き添えください。

☆ ひまわり組の一日 ☆

9時 登園 おはよう!

10時 お天気の良い日は、在園児と共に近くの公園へお散歩に出かけます。雨の日は、室内で楽しく過ごします。

11時 配膳・給食

12時 食後はゆったりと過ごします。

1時 お昼寝

2時

3時 おやつ

4時 お部屋か砂場でもうひと遊び!

5時 降園 バイバイ、またねー

◆ 一時保育は「ひまわり組」といいます。「ひまわり」のように明るく伸びのびと、心も体も健やかに育ってほしいと願っています。

ようこうほいくえんの 一時保育

◆ 利用日・利用時間など
・月曜日・金曜日の9時～17時
(土曜日・日曜日・年末年始休)

◆ 1歳以上で、離乳の完了しているお子さんから。但し「すくすくカード」(板橋区発行) 利用の方は、生後10か月から一日1時間～8時間。ご希望の時間帯で利用できます。

◆ 申し込み・お問合せ
・直接陽光保育園へ(受付10時～17時)。
・緊急時以外は、できるだけ利用される10日前までに申し込んでください。
・事前に面接をしていただき、利用日・利用時間を予約していただきます(親子でおいでください)。
・利用料その他、詳しくは陽光保育園までお問合せください。

◆ こんなときにご利用ください
・保護者の就労・求職・通院・職業訓練・通学・看護・介護など。また、保護者の傷病・災害・事故・出産・冠婚葬祭など緊急時
・保護者の生涯学習・子育て不安・リフレッシュなど
・育児相談、健康診断等で、お子さんが保育園での保育が必要と認められたとき

「保育園の子どもたちといっしょに遊びたい」「砂あそびを体験したい」「離乳食や子育ての相談にのってほしい」といった地域の方々の声に応え、陽光保育園では月1回、親子で参加できる広場を設けています。お気軽にご参加ください。無料です。

親子でいっしょにあそぼう

* 水あそび、砂あそびに参加される方は、タオルと着替えをご持参ください。
* 0歳児は、室内にて、赤ちゃん体操や日光浴、あやし遊びなどでゆったり過ごす予定です。
* お天気により活動を変更する場合がありますのでご了承ください。

2007年度年間予定

- 4月25日(水) 砂あそび
- 5月16日(水) リズムあそび
- 6月20日(水) さんぽ
- 7月5日(水) セツのついで
- 8月22日(水) 水あそび
- 9月19日(水) 砂あそび
- 10月17日(水) リズムあそび
- 11月21日(水) 焼きいも
- 12月19日(水) リズムあそび
- 1月16日(水) 室内あそび
- 2月20日(水) 室内あそび
- 3月13日(水) さんぽ

シリーズ 戦争と私

空襲は、こりこり

きたまこと

私は、1929(昭和4)年生まれ、現在78歳。旧制中学2年生だった終戦の年(1945年)の4月13日夜、豊島区雑司が谷で城北大空襲にありました。祖母、父母、兄弟の6人が、着の身着のまま焼けだされ、家屋・家財を失ったが、幸い火傷、怪我でいどで生き延びることができました。

その夜、米B29爆撃機が来襲、豊島、北、文京、板橋などを総なめにし、豊島区では死者741人、焼失家屋3万4000戸、被災者16万人に。子どものころ遊び場だった根津山には二つの大防空壕が掘られていましたが、この大空襲で黒焦げになった死体が丸太棒のようにトラックに積み込まれ、「穴に埋め、茶毘に付された」と聞かされました。私のまわりでも、何人かが親子焼夷弾で焼け死に、「生き地獄」の恐怖を味わいました。

焼けけた服をまとい、一面の焼け野原に立ちつくして茫然としていた私のところへ、練馬高射砲隊に属していた兄がにぎり飯をもって駆けつけてくれ、ポロポロと涙を流しながら分けあって食べた記憶があります。それ以来、夜空に上がる花火を見ると心が疼くトラウマ状態が、戦後しばらくつづきました。

私の小中学生時代、いわゆる戦時中は(そして戦後も)、食べ物不足、野草を食べ、イモがゆをすすって、「欲しがりません、勝つまでは」と我慢を強いられました。「すべてお国のため」「命捧げよう天皇陛下に」と、「日の丸」「君が代」の軍国主義一色に塗りつぶされた暗い恐ろしい時代。死ぬ思いの空襲はもうこりこり、戦争は二度と御免です。罪のない子ども、女性らがいづも犠牲になる。その歯止めになってきたのが、平和憲法9条ではないでしょうか。

自作詩を紹介します。題は「同じ黄色」。

アフガンで米軍の爆撃がひどくなり／僕らは故郷を捨てて難民に／昼夜歩きおして／三日間にも食べていません／黄色いソーダ缶のようなものが／草の上にキラキラと輝いていた／米軍が落とした／食糧援助バックも「同じ黄色」／お腹がペコペコの僕は／夢中でその缶にとびついた／すごい爆発がおきて僕は／白い大ワシになり天宮に召された／おもちゃのような／花のバラシューがついていた缶／水や食糧ではなく／ソーダ水も入ってない／それは「ブドウのふさ」という名の殺人親子爆弾

(板橋区在住/上板九条の会)

お父さんの出番です!!

オニババと3人の召使たち

さて、私は「父親の育児参加」という言葉が好きではありません。「参加」って、何がイベントをイメージしますし、この言葉の背景には「子育てはお母さんの仕事。お父さんは仕事の合間に時間が空いたらちよつとやってみる」という、かなり受け身な感じがしませんか? とはいえ私たちがちよつと子育てしているのかといえは自信はないので、実際のところは妻に聞いてみてください(恐)。

私は自営業なので、比較的時間都合をつけやすく、日中のいろいろなイベントや子供と遊ぶ時間も多々あることをしてキッちゃんに立っている自分がいま、気がついたら、エプロンをして、お父さんの出番です!!

日本のお父さん、声をあげましょう! 好きで子育てしてないわけではないことを朝早くから満員電車で揺られ、日中神経をすり減らし、夜遅くまで残業の毎日。土曜日からいっしょに寝かせてくれ、というのには当然です。そんな状況にありながら、男性は男らしく、愚痴や弱音をこぼすのは恥ずかしいことと思いませんか? お母さんたちはたくさんお父さんの愚痴を言ったり、弱音を吐いたりしていますよ。先日、仕事帰りに駅から自宅へ帰る途中、前方にお母さん集団発見。私はちよつと苦手なので、ソロンソロとその集団の脇をすり抜けたところ、衝撃的な話を聞いてしまいました。「あー旦那の愚痴言ったら、喉が痛くなっちゃった」と。喉が痛くなるまで熱く語られていたであろう旦那の愚痴、そつとしますが、でもそういうお母さんほど家へ帰る道すがら「ちよつと悪く言い過ぎたかしら」という反省のもと、その日はおそろしく主人にやさしく接したのではないかと想像したのでした。

陽光のお父さん、これからも一緒に弱音を吐いたり愚痴を言ったりしながら、子育てしていきましょう!

(4歳児クラス・環の父 安藤 巨)